



ゆすはら町議会だより

四万十源流

平成27年7月20日

第92号

題字 議長 土釜 清



夏が来た!! プール開きだ!!

子どもたちは喜んで
プール遊び

目次

行政報告など	2
6月定例会での決定	3
一般質問(高橋・下元)	6
委員会活動	9
意見書	10

5月 臨時会

議会5月臨時会は、5月1日に1日限りの会期で開催した。

町議会議員選挙後の初議会であり、議長・副議長の選挙や議会運営委員会、各常任委員会などの組織を決定した。なお、議長には土釜清氏、副議長には市川岩亀氏が選ばれた。

議案審議では、監査委員の選任や介護保険料率の変更など町条例の一部改正や専決処分承認について、本会議で審議を行い、すべての議案について原案どおり可決、承認した。

6月 定例会

議会6月定例会は、6月12日から15日の4日間の会期で開催した。

一般質問には、2人の議員が「定住人口の拡大と職場の確保について」「プレミアム付元気商品券について」など町の考えを問いただした。

議案審議では、平成27年度一般会計補正予算や工事委託契約、移住定住促進住宅の設置及び管理条例の制定など、本会議で審議を行い、すべての議案について原案どおり可決した。

また、報告として、土地開発公社などの経営状況の説明書の提出と和解及び損害賠償の額の決定について報告があった。

行政報告

町長は、平成27年3月定例会以降における諸般の行政について、次の項目の報告をした。

総務課関係

- ・高幡5市町村で避難協定締結
- ・日本年金機構の年金情報流出

企画財政課関係

- ・移住定住PR事業
- ・くらそう栲原でフェアinひろめ市場
- ・高知暮らしフェアin東京
- ・高知暮らしフェアin大阪
- ・若者定住対策
- ・地方創生事業

保健福祉支援センター関係

- ・MERS(中東呼吸器症候群)

環境整備課関係

- ・町道川井線における車両破損事故
- ・林道東津野城川線(西線)連絡協議会の設立

産業振興課関係

- ・栲原町有害鳥獣被害対策協議会総会開催

教育委員会関係

- ・第1回総合教育会議



移住定住PR事業で多くの人に栲原の良さを知ってもらおう

議案審議の概要

5月臨時会及び6月定例会に提案され審議した議案についての概要（質疑は抜粋）

5月臨時会

専決承認

地方自治法第179条の規定により専決処分したので、承認をお願いするもの。

【梶原町税条例等の一部改正】

【梶原町国民健康保険税条例の一部改正】

地方税法等の一部を改正する法律、地方税法施行令等の一部を改正する政令及び地方税法施行規則の一部を改正する省令の施行に伴い、それぞれの条例の一部を改正する必要があるため、平成27年3月31日付で専決処分したものを、

承認（全員賛成）

【平成26年度一般会計補正予算】

地方譲与税及び地方交付税の確定に伴い、補正予算の必要が生じたので、平成27年3月31日付で専決処分したものを、

承認（全員賛成）

条例

【梶原町国民健康保険税条例の一部改正】

介護保険法施行令、介護保険の国庫負担金の算定等に関する政令の一部を改正する政令及び介護保険の医療保険者の納付金の算定等に関する省令の一部を改正する省令の施行により、平成27年度分から適用されることとなった保険料率など、関連する条項を改正するもの。

可決（全員賛成）

その他

【監査委員の選任】

監査委員（議会選出）の選任について同意を求めるもの。

委員は、

氏名 川上寿久（かわかみとしひさ）

住所 梶原町横貝

6月定例会

補正予算

【平成27年度一般会計補正予算】

主な内容は、地震から住民の命を守るための住宅耐震改修補助金1千80万円、高齢者の住宅環境整備補助金180万円、繰越金の法定積立金として、財政調整基金積立金に4千321万6千円、梶原ならではの保健・医療・福祉の充実に必要な財源確保のため、保健文化社会福祉基金積立金に3千983万円を増額し、合計で9千564万6千円を追加し、歳入歳出それぞれ53億2千364万6千円とするもの。

可決（全員賛成）

○質疑

問

二宮近雄

3月議会で予算を組み現在進行していると思う図書館建設の設計委託の件であるが、設計内容をしっかりと吟味し、建築後の維持管理費が節減できるような建物にしなければならぬと考えるがどのように取り組んでいるか。

町長 矢野富夫

現在、東京大学教授の隈研吾先生と設計委託を契約して、内容について話を進めているところであり、質問内容は重要なことなので先生にもこのことを伝え進めていきたい。

高橋基文

耐震改修は、いいことであるが、今年度スタートしてすぐに補正というのは、当初予算の見込みが甘いのではないか。また、社会福祉基金の使途、その額と時期はどうなっているのか。

総務課長 山本正澄

見込みが甘いと言えば甘いのだろうが、住民にも徐々に浸透して要望が増えてきているところで、県補助についても増額を要望し対応している。

保健福祉支援センター長 橋田淳一

これから設計に入る中間福祉施設をはじめ、使途はある程度わかっていると思われるが、その額と時期についてはこれから決まってくる。

条例

【梶原町移住定住促進住宅の設置及び管理に関する条例の制定】

梶原町への移住定住を促進するため、飯母に建築している移住定住促進住宅が8月31日に完成することに伴い、その設置及び管理について、必要な条項を明記し、条例を制定するもの。

可決（全員賛成）

○質疑

二宮近雄

町長は、重要な政策のなかで、梶原町の将来人口4千人をめざし町営住宅の建設、空き家改修事業などに積極的に取り組んでいるが、このことを理解しないで町外に住所を置いて勤務している幹部職員がいるのではないか。今までの幹部職員は梶原町に住所を移し勤務していたが。

町長 矢野富夫

法律的には問題がないと考えるが、町民感情からすると少し違和感をもっているのも事実である。当事者にも町の重要政策の意味を理解してもらいたい。それが幹部の条件ではないかと思っている。

二宮近雄

町が建設をした住宅には、UターンUターン、そして役場職員なども入居しているが、部落住民との付き合いもほとんどなく地域防災の関係からも皆さんが困惑している。入居条件に地域の部落に入会し、ともに活動するよう条件を付けてはどうか。

町長 矢野富夫

現在も入居する際には、積極的に参加するように話をしているが、現実に参加していないように感じている。これでは地域の皆さんの期待に応えることはできないので、まずは役場職員から積極的に参加することを促し指導していきたい。部落への入会には、少し時間が必要と考えるが、行事については早速6月の一斉清掃から実施する。

下元秀俊

移住定住者が多くいる場合、今回設置した住宅でなく、町営住宅に入居したら家賃の格差が生じるが対応はできないものか。これまでに町営住宅に入居している移住者についても同じである。

町長 矢野富夫

公営住宅法に基づいて設置している住宅については、家賃の算定方法が決まっていることであり、対応はできかねる。

高橋基文

入居対象者はUターン後何年間という基準があるのか。

企画財政課長 西村新一

規則で定めていくこととしており、空き家住宅や、今回の住宅の入居期間である10年を考えている。

その他

【工事委託契約】

「町道佐渡鷹取線の道路改良工事における梶原町への技術支援に関する平成27年度委託契約」について、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定に基づき、議会の議決をお願いするもの。

可決（全員賛成）

【指定管理者の指定】

「梶原町観光交流センター（まちの駅「ゆすはら」）」について、梶原町商工振興協同組合を指定管理者の候補者として選定したので、地方自治法第244条の2第6項の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。

可決（全員賛成）

○質疑

問 西川慶男

梶原町商工振興協同組合には、他の施設についても指定管理者として指定しているが、それぞれの施設で職員の対応に差もみられる。徹底した職員教育が必要だと思われるので、指定する側として、町から指導することも必要ではないか。

答 産業振興課長 来米修作

そういった意見もよく聞かれる。接客の基本は挨拶と笑顔があれば、ご指摘のような声はないと思われるので、商工振興協同組合と協議し対応していく。

諮問

【人権擁護委員候補者の推薦】

任期満了に伴う人権擁護委員の推薦について、議会の意見を求めるもの。

委員候補者については、

中平宏 氏（梶原町上本村 新任）

適任意見可決（全員賛成）

報告

【専決処分】

「和解及び損害賠償の額の決定」について、報告するもので、その事故の概要については、平成27年2月27日に、町が管理する道路において、走行中の車両が横断側溝のグレーチングを跳ね上げ車両の一部を破損させたもの。

この事故に伴う過失割合は、町側100%で、相手方及び保険会社と協議が調ったので、速やかに損害賠償を行うため専決処分をしたもの。

なお、損害賠償額の全額に損害保険が適用されることになっている。

【梶原町土地開発公社の経営状況の説明書】

【一般社団法人津野山畜産公社の経営状況の説明書】

【株式会社雲の上の経営状況の説明書】

【ゆすはらペレット株式会社の経営状況の説明書】

【繰越明許費繰越計算書】

発委

【梶原町議会議規則の一部を改正する規則】

議会における欠席の届け出の取り扱いに関して、社会情勢などを勘案し、出席の場合の欠席の届け出について、新たに規定するもの。

欠席の届け出は、「事故のため出席できないときは、その理由を付け、当日の開議時刻までに議長に届け出なければならぬ。」となっており、出席の場合も事故として届け出ることになっていたが、今回の改正をもとに「出産」を理由として期間を定めて欠席できるよう明記するもの。

現在、梶原町議会には、女性議員がいないが、今後、女性や若者を含めた議員のなり手不足の解消につなげていく議会改革の一環として改正するもの。

議会運営委員会 提案

可決（全員賛成）

【梶原町議会議傍聴規則の一部を改正する規則】

議会の傍聴席に持ち込むことを禁止しているものに関して、社会情勢などを勘案し、「つえ」については削除するもの。

議会運営委員会 提案

可決（全員賛成）



定住人口拡大と職場の確保が

問 高橋基文



問 ①移住ターゲットを明確化した移住推進策が重要であり、ターゲットの明確化を図るべき。

②約束事をスムーズに行うことができる取り決め事。例えば条例などによりしつかりと町の再編計画を立て、空き家や土地を、持ち主や町がスムーズに利用できる仕組み作りが必要。それにより既存住民の皆さんを中心部へ、集落活動センターの付近へ移住していただく等の整備準備が必要である。

③大学、福祉専門学校、看護学校、農業学校、調理専門学校の誘引や夏期、冬期講座等の短期間講習所としての設置や地域医療及び一次産業と連携した取組を行ってはどうか。

④今や口コミの時代でありツイッター、フェイスブック、ラインなどが普及し誰でも、日本人、外国人問わずに即座に情報発信する時代。田舎を逆手にとった観光名所としての打ち出しを行ってはどうか。人の流れに人がついてくる時代を考えた提案を行うこと。

⑤国道440を利用した松山市へのアクセス整備と職場確保を目的とした連携企業誘致を考えてはどうか。

⑥以上の事業を行うセクションの別途企業でのいわゆる第三セクター設置を考えてはどうか。



町長 ①グルメ祭り、東京大阪での高知暮らしフェアにも参加。高知のひろめ市場での暮らそう梶原フェアでは600通のアンケートに協力いただきました。何を求めているのか望んでいるのかデータとこちらの施策の伝え方に気を配り仕事をしていきます。年齢、年代家族構成も必要で、梶原町家計調査を4回行い年代別に100人程度の方にご協力いただいて秋には集計ができる予定です。資料として利用したいと考えています。

②私もお提言の考え方を持っており、所有者の皆さんの要望に応えながら利用させていただく方向で取組を進めさせていただきたいし、法令等を見ながら進めさせていただかなくてはならないと



32年度末までには4000人に

向かい全力で取り組む

答 町長 矢野富夫

思っています。これからは要介護1、2が市町村の範囲になり、要介護3が施設にそして在宅介護に移っていく、介護をする方は24時間見守体制が困難であり、人家が点在した状況から重症の皆さんが集まり生活することによって福祉拠点に連携した24時間見守りも可能ではないかと考えております。そう考えると土地所有権が町外に流出された場合に町づくりの中の一つが達成できないことになりそうですので、町が取得させていただくこともお願いしていかなくてはならないと思っており、状況を確認しながら方向性を定めていきたいと考えています。

③さまざまな大学と連携をさせていただくように進めており、今年の高知大学と連携しサテライト教室を設置するよう進め、高知工科大学、県立高知大学、関西学院大学、城西国際大学、慶応義塾大学と連携を図るために意見交換や調査研究に町内全体を学習の場として利用いただく取組を進めています。

④未来大使に日本各地はもとより、ドイツ、アメリカ、スイス、オランダの方にもお願いしていますので、どんどん外国人も取組を進めていききたいし地域資源を上手く使いながら交流人口拡大システムを作らせていただきたい。

⑤久万高原町、砥部町、松山市、鬼北町、宇和島市など取組を進めさせていただきますますし、PR活動に邁進させていただきます。

⑥移住コーディネーター、まち・ひと・しごと創生係を配置したところですので今の仕組みを進めさせていただきます。状況によって対応していく事を検討させていただきます。

私は2期目に臨むに当たり、6つをお示しさせていただきます。この計画と今後の計画を実行することにより新たな雇用の場の確保と移住定住人口減少に歯止めをかけることになると確信しています。大きな国の支援として全国35ヶ所の重点



2014/12/19





プレミアム商品券の見直し。生活支援を!!

答 町長 矢野富夫 今回は子育て支援を重点に。

問 下元秀俊

矢野町長におかれましては、中間福祉施設の建設、森の中のまるごと図書館構想、太郎川公園の再開発など「小さな拠点ゆすはら」の実現に向け日夜ご尽力されておりますこと心より感謝と敬意を申し上げます。

問 5月1日よりはじめました、プレミアム付元気商品券について考えを聞きたい。

このプレミアム商品券は、子育て支援分が1万円、2万円、一般分は1万円、1万2千500円の商品券に交換できる内容でありまして、アベノミクスの推進により都市部では経済の好転が見られるが、地方や本町においては効果が見えない厳しい状況が続いている。このような厳しい経済情勢の中、それぞれ100%

25%のプレミアムは住民にとって、大変ありがたい施策である。特に、今回は、子育て世代の家庭に重点を置き、生活支援という観点から、18歳未満は、100%のプレミアムという内容で、その想いの伝わる施策であると考える。一方で、一般世帯に対しては25%のプレミアムという内容であり、その差は75%。換算すると7千500円である。一般世帯のなかには、少ない年金を唯一の収入として生活している方、特に独居高齢者や高齡世帯や、後期高齡者、障害があり職に就けずに切りつめて日々の暮らしをしておられる方、病気の通院治療をしている方、不安な、厳しい生活をされている住民もおられることを考える。そのことから地

方創生のスタートの時にあたり、それぞれの町民の元氣創出と経済の好循環と位置づけ「生活支援」、「経済対策」という視点でプレミアム在り方は考え直しても良いのではないか。

町長 今回のプレミアム付き商品券は地方創生の位置付けのものとの施策であり、日本の人口減少に対する危機感を背景に、人口減を食い止めることを主眼におかれていることで、その交付金を活用している。子育て世帯や若者の出会いの場づくり、都市から地方への移住対策に対する支援となつていて、ご理解いただき、利用をお願いしたい。

その理由として、本町では、昨年、消費税8%の増税に対して地域経済

の落ち込みや景気の腰折れを防ぎ活力ある町づくりを進めるためにひとり3万円まで購入できる20%のプレミアム付き商品券の発行に取り組んだ。全体の利用率は60%で、結果からみると子育て世代の利用率が最も高く年齢が高齢になるほど利用が少なくなつていく。特に高齡者は利用が少なく、見方によってはそれほど必要がないとも思われる状況です。集落別では、よく集まって話をする集落は利用が高く、集まりの少ない集落は利用率が低いというようにも思われます。また、臨時給付金交付事業を交付する予定で、対象者、非課税者には1人6千円を給付しようとしている。また、温泉、プールの利用券にも無料を含め

て助成を行い健康づくりにも取り組んでいる。さらに、タクシーチケット、祝福金、在宅応援など生活者、高齡者の生活支援の充実に取り組んでいる。この結果も含めて、

集落活動センターを拠点としながら、みなさん方が支え合つていく仕組みづくりを強化し、さらに支援体制も充実していく。



子育て支援を重点としたプレミアムがついている商品券

常任委員会活動予定

新たな委員で 効率的・専門的に活動します。

総務教育厚生

総務教育厚生常任委員会は、まず、町内の消防施設・設備を調査検討する。

その後については、その都度、調査の重要性や町施策への反映など検討し、柔軟に委員会活動を実施することとしている。

今回は、4年前に調査し、その後しっかりと計画を立て実施している消防施設・設備について、消防団が活動しやすいことを前提とした目線で調査し、必要な施設・設備資機材の現状を把握することとしている。

- 委員長 高橋基文
- 副委員長 二宮近雄
- 委員 川上寿久
- 〃 土釜 清
- 〃 市川岩亀



総務教育厚生常任委員会です。柔軟に対応し活動します!!

産業建設

産業建設常任委員会は、森林組合及び農業協同組合の現状を確認することからはじめ、現状を把握することで見えてくる本町の一次産業の課題について、その後、調査検討するなど委員会活動を実施することとしている。

一次産業については、生産力の低下と市場の縮小など厳しい状況のなかで、生活環境を支える基盤の整備や移住定住とのつながりをはじめ、担い手の育成や経営安定に向けた所得の継続的な維持向上をめざし委員会活動を実施していく。

- 委員長 下元秀俊
- 副委員長 西川慶男
- 委員 土釜 清
- 〃 中岡俊輔
- 〃 市川岩亀



産業建設常任委員会です。精力的に活動します!!

意見書を2件 採択し提出します

地方財政の充実・強化を 求める意見書

果たす役割の拡大。さらに、人口減少対策を含む地方版総合戦略の策定など、新たな政策課題に直面している地方自治体は、人材が減少し、新たなニーズの対応が困難となり、公共サービスを担う人材確保とともに、これに見合う地方財政の確立をめざす必要があることから「地方財政の充実・強化を求める意見書」の提出について議案を提出し、賛成全員で採択された。

提出者：高橋基文
賛成者：二宮近雄
川上寿久
市川岩亀

提出先
内閣総理大臣
内閣官房長官
総務大臣
財務大臣
内閣府特命担当大臣
(経済財政政策担当)
経済産業大臣
地方創生担当大臣
県選出国會議員6人

特別支援学校の「設置基準」 策定を求める意見書

特別支援学校の児童・生徒数の増加が進んでいるなか、教室数不足によるぞんざいな対応で、一人ひとりに見合った丁寧な教育、子どもたちの学ぶ権利が奪われている。そればかりか、いのちと健康さえも脅かされていることから、幼稚園から小中学校、高校、大学、専門学校まですべてにある「設置基準」が特別支援学校にも必要であることから「特別支援学校の「設置基準」策定を求める意見書」の提出について議案を提出し、賛成全員で採択された。

提出者：高橋基文
賛成者：二宮近雄
川上寿久
市川岩亀

提出先
内閣総理大臣
内閣官房長官
文部科学大臣
県選出国會議員6人

閉会中の所管事務調査事項

各委員会は、9月定例会までの閉会中に、次の事項を調査します。

- 議会運営委員会 ・ 議会9月定例会の運営について
- 総務教育厚生常任委員会 ・ 消防・防災について
- 産業建設常任委員会 ・ 産業振興について
- 議会広報編集委員会 ・ 議会広報の発行について



新たな委員で、新たな気持ちで、議会広報を編集している議会広報編集委員。

あとながき

日本列島は、相次ぐ火山噴火と地震、大雨による土砂災害、年金情報流出、十八歳選挙権成立、マイナンバー制度の導入等、世の中は目まぐるしく変化と試練を繰り返しています。

国の流れは、私たちと直結しています。大切なことは、関心を持つこと。そんな中、梶原町議会も厳しい戦いをくぐり抜け、新たな8人の議員が誕生し、ともに歩む議会をめざ

し、各々掲げた公約を果たすべく最善の努力を重ねています。

そして、また梶原町も3つの項目を掲げ歩んでいます。

①福祉、高齢者社会、安心安全な町づくりを構築する。

②太郎川公園の全面改修。

③森の中の図書館の設置多目的ホールとして活用し、子育てのできる施設とし、雇用促進にもつながっていく。

若者こそが大きな希望です。そして大人の役割はさらに重要であります。目標を共有し背中を見せる生き方を示しつつ、学び、育て、町民一体となって、小さな山あいの町でも笑顔で未来を考え生きた「町力」を発信しようではありませんか!!

西川慶男 記

心の
ふれあい
広場

よいくんど

～伝統食の取り組み～



ふわっとした食感なのにもちもち感の「みかえり餅」

「伝統食」づくりに取り組んでいる、『よいくんど』のみなさんをご紹介します。今城福恵さんたち坪野田のご婦人方（女子会）6人は、昨年から地域の伝統食である「そば」を打ったり、「こんにゃく」をつくったり、食事に欠かせたりと、みなさん顔を会わせては、和気あいあい、つくっては食べ、楽しみながらの活動をしています。

メンバーの一人、吉村美恵子さんは「私がここに嫁いできた当時、冠婚葬祭があれば地域の人たちが集まり、お寿司を巻き、鯖寿司をつくり、煮物をつくり皿鉢料理は自分たちでつくっていました。そんな記憶の中で、今では集まる機会も少なくなってきたので、集まって料理を作る機会もなくなりました。」昨年からは部落で集まりがある度に「何か自分たちで出来ることをして楽しみたいね」と話が盛り上がり、「自分たちが知らないこ

と、昔の生活の中でやっていたことをもう一度やってみよう」、「お年寄りが元気なうちに教えてもらおう」ということがきっかけで「伝統食づくり」が始まったそうです。今一番の『もの』は、「焼き餅」だそうです。これは、従来からつくられていた「おもち」を基本にし、昔ながらの味と風味を大切にしながら、ソフトな食感と自然の香りとう味を楽しめるようにアレンジして作り上げた自信作だそうです。私もいたいたが、まさに自然の香りが口の中に広がり、食感もふわっとしていいながらももちもち感がありソフトで大変おいしいお餅に仕上がっていました。

これからの活動をお聞きすると、「みんなが集まってはつくり、食べて、話して楽しみながら続けていきたいです。そして、この『焼き餅』を『みかえり餅』として商品化していきたい。また、地域で栽培される小豆やもち

米、いも、かぼちゃなど地域素材を使って『ものづくり』に取り組んでいきたいと思っています。」と元氣にお答えいただきました。

いま、国内では地方創生が大きな話題となっており、様々な取り組みが始まっておりますが、自分たちの地域の伝統や食文化を見直し再現することは、まさに『地方創生』その

ものではないか。地域の人が集まり、話しあい、知恵を集めて、自分たちが出来ることをコツコツと続けていくことで、地域の元氣創出につながっていくのだと実感させられました。

坪野田のみなさんの取り組みが花開くように念願しています。

下元秀俊 記



女子会を楽しむ坪野田のご婦人方